

千葉県と連携大学との研究成果発表会

大学の地域連携と生物多様性

～いきいきとした持続可能な地域づくりをめざして～

千葉県と連携協定を締結している6大学が、各大学の特色を活かしてそれぞれの地域で行っている生物多様性に関する取組などを、地域の方々と共に発表します。また、千葉市と千葉県生物多様性センターが、行政の立場からの生物多様性保全の取り組みについて紹介します。そしてそこから生物多様性の保全や活用に関する課題や今後の方向性について議論します。ぜひ御来聴ください。



千葉大学の委託研究で千葉県から新種として記録されたイスマスズカケ



東京情報大学と市民団体の活動の場である佐倉市畔田の谷津の四季 原慶太郎撮影



東京海洋大学「みなと塾」の様子



東京海洋大学「葛西臨海たんけん隊」の様子

平成25年11月30日(土)13:00～16:30
東京情報大学 情報サービスセンター メディアホール
(千葉市若葉区御成台4-1) 先着300名・参加無料

主催 千葉県

共催 江戸川大学、千葉大学大学院園芸学研究科、東京海洋大学、東京情報大学、
東京大学大学院新領域創成科学研究科、東邦大学、千葉市

お問い合わせ先 千葉県生物多様性センター 043-265-3601

千葉県と連携大学との研究成果発表会

大学の地域連携と生物多様性

～いきいきとした持続可能な地域づくりをめざして～

平成25年11月30日(土) 13:00～16:30

東京情報大学(千葉市若葉区御成台4-1)

情報サービスセンター メディアホール

(先着300名・参加無料)

- 13:00～13:10 挨拶・趣旨説明
- 13:10～13:25 吉永明弘・土屋 薫(江戸川大学)
流山市の市民活動と江戸川大学の取り組み
- 13:25～13:40 上原浩一(千葉大学)
絶滅危惧種イスミスズカケの概要と保全
- 13:40～14:05 福田健二(東京大学) / 森 拓人(柏自然ウォッチャーズ)
柏市の緑地と希少種保全のための取り組み
- 14:05～14:20 河野 博(東京海洋大学)
江戸前の海を持続的に活用するための仕組みづくり～大学にできること
- 14:30～14:55 原 慶太郎(東京情報大学) / 美濃和信孝(畔田谷津ワークショップ)
東京情報大学の生物多様性に関する地域連携の取り組み
- 14:55～15:10 森田考恵(しろい環境塾)
大学の研究活動を応援してNPOと市民が得たもの
一河川改修のさなかでのカメの観察、救出、その後一
- 15:10～15:25 富塚秀典(千葉市環境保全課自然保護対策室)
千葉市の谷津田保全と地域連携
- 15:25～15:40 萩野康則(千葉県生物多様性センター)
大学の地域連携と行政の取り組み～千葉県生物多様性センターを例として
- 15:50～16:30 総合討論

東京情報大学の交通案内

【電車・バス】

- JR「千葉駅」東口から京成バス8番・9番乗り場 千02・千05系統「御成台車庫」行き「情報大正門」下車。
- JR 総武本線「都賀駅」から千葉都市モノレールに乗換、「千城台駅」下車。京成バス1番乗り場 千02・千05系統「御成台車庫」行きで「情報大正門」下車。

【自動車】

- 東京方面から
京葉道路・貝塚インターチェンジで降りて、成田・佐倉方面へ直進。頭上に「千葉都市モノレール」が並走するタウンライナーストリートで右折。千葉都市モノレール終点「千城台駅」の交差点を左折。直進。
- 市原方面から
京葉道路・松ヶ丘インターチェンジで降りて、しばらく京葉道路と並走。国道51号「車坂上」交差点を右折・直進。続く「桜木町」交差点を直進。頭上に「千葉都市モノレール」が並走するタウンライナーストリートで右折。千葉都市モノレール終点「千城台駅」の交差点を左折。直進。

